

機械器具43 医療用つち

一般医療機器 つち(JMDN:11947010)

骨片打込器

【禁忌・禁止】

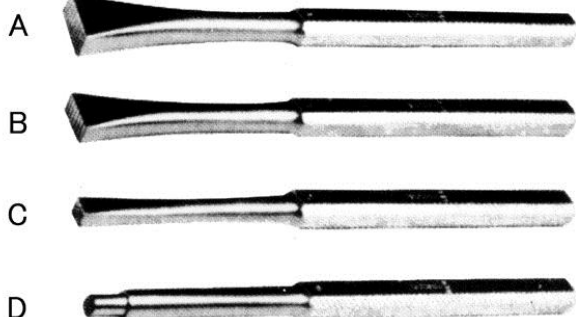
- 1)本品を曲げたり、切削等の二次的加工(改造)を絶対にしないで下さい。〔折損等の原因となります。〕
- 2)本品を清掃する際には、必ず中性洗剤をご使用下さい。〔酸性、又はアルカリ性の洗剤は、本品を腐蝕させるおそれがあります。〕
- 3)使用時に必要以上の力を加えないで下さい。〔打ち込んでいる骨片が割れるなど損傷の原因となります。〕

【形状・構造及び原理等】

1. 材質:ステンレス鋼

2. 形状又は構造

(写真は、通常サイズ:全長 18 cm)



サイズ表

カタログNo.	先端形状	先端サイズ	全長
2204-01	A:荒目	19×8 mm	18 cm
2204-02	B:荒目	15×6 mm	18 cm
2204-03	C:細目	8×5 mm	18 cm
2204-04	D:細目	φ6.5 mm	18 cm
2204-06	A:荒目	19×8 mm	24 cm(長柄)
2204-07	B:荒目	15×6 mm	24 cm(長柄)
2204-08	C:細目	8×5 mm	24 cm(長柄)
2204-09	D:細目	φ6.5 mm	24 cm(長柄)

3. 原理

本品は、移植骨片等の埋設に用いる器具で、数種類の先端形状と2種類の長さのものが用意されている。

【使用目的又は効果】

整形外科手術にて、骨片を患部に打ち込む際に用いる。骨片の大きさや、患部の状態により適切なものを選択して用いる。必要以上の打撃力を与えないため、把持部が指先にて保持するようデザインされている。なお、本品は再使用可能である。

【操作方法又は使用方法等】

手元のハンドル部分を把持し、先端を骨片にあてがい、打込器の後端をナイロン・ハンマーで慎重にたたいて使用する。

本品は未滅菌のため、使用に際しては必ず洗浄し、下記の条件又は医

療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行って下さい。

滅菌方法: 高圧蒸気滅菌

滅菌条件: 温度 121℃以上、時間 30 分

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 他の鋼製小物やインプラントをたたくなど、骨片打込み操作以外の用途に使用しないで下さい。また、先端打込み部分の摩滅や変形の原因になるので、使用時に必要以上の力を加えないで下さい。
- 2) 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、直ちに洗浄して下さい。
- 3) 塩素系及びヨウ素系の消毒液は腐蝕の原因になるので、できるだけ使用を避けて下さい。それらが付着した場合は直ちに洗浄して下さい。

<不具合・有害事象>

本品の使用により、以下のような不具合・有害事象がおこる可能性があります。

- 1) 本品の適切な洗浄、滅菌を行わなかったために起こる感染。
- 2) 患部や移植骨片の破損、陥没など。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 保管にあたっては、洗浄をした後、腐蝕を防ぐために必ず乾燥して下さい。
- 2) 滅菌済みのものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をして下さい。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織などの汚れを除去し、感染防止のために洗浄して下さい。汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適切な濃度で使用して下さい。
- 2) 洗浄装置(超音波洗浄器、ウォッシャー ディスインフェクター等)で洗浄する際には、刃物が接触して先端を破損することがないように注意して下さい。
- 3) 洗剤の残留がないよう、十分にすすぎをして下さい。仕上げすすぎには、浄化水(ろ過、蒸留、脱イオン化水)を用いることを推奨します。
- 4) 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥して下さい。
- 5) 滅菌前、あるいは使用前に、汚れ、キズ、サビ、曲がり、先端部分の損傷等、異常がないか点検を行って下さい。
- 6) 強アルカリ性、または強酸性の洗剤や消毒液は、器具を腐蝕させるおそれがあるので、絶対に使用を避けて下さい。中性洗剤の使用を推奨します。また、金属たわし、クレンザー(磨き粉)等は、器具の表面が損傷するおそれがあるので、汚れ除去及び洗浄の際には使用しないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社 根本商会